

きかい

1
No.535

本町は「日本でもっとも美しい村」連合に加盟しています。



小学1年生



中学3年生

荒木「拝賀式」

一年の計は元旦にあり

表紙説明

年の始めの 例 (ためし) とて
終 (おわり) なき世の めでたさを —

荒木集落伝統の「拝賀式」が元日、子ども育成会(福原早苗会長)の主催で、同集落公民館であった。拝賀の意味は、広辞苑によれば「目上の人に謹んでよろこびを申し上げること。」とある。

この日、小学生25人、中学生21人と多くの集落住民が参加した。全員で国歌と冒頭の歌詞で知られる『一月一日(いちがついちじつ)』を歌い、同会会長と集落区長のあいさつや荒木小校長と同集落出身の晴永教育長との祝辞の後には、子どもらは大人たちの前で堂々と「今年の抱負」を披露し、激励の意がこめられた集落からのお年玉を、喜びながらもらっていた。

荒木小1年の岩崎元気くんは「緊張しなかった。抱負で言ったように、3学期は算数をがんばりたい」と元気よく話した。

拝賀式は日本各地で行われているが、奄美群島では消えつつあり、本町でも荒木集落のみが、この古き良き伝統を受け継いでいる。



おたのしみの“お年玉”

CONTENTS

| | |
|---------------------------|-----|
| 年頭あいさつ..... | P2 |
| 年男・年女のメッセージ..... | P4 |
| 平成24年成人式 | P5 |
| 町政懇談会..... | P6 |
| シマの話題その1(島一番コンテスト 他) ... | P10 |
| 年金の請求手続きを忘れてませんか? | P14 |
| シマの話題その2(早町中でラストラン 他) ... | P16 |
| 母校訪問 一第10回・早町小一..... | P20 |



新年のごあいさつ

町・町教育行政・町議会の代表より

町民の皆さまへごあいさつ申し上げます

震災やTPPなど厳しい情勢の中でも セリ市場新築や学校再編で確実な前進を



喜界町長 加藤 啓雄

明けましておめでとございませす。

新しい年を迎え、謹んで町民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。また、平素より町政の各般にわたりご協力賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、我が国にとつて忘れられない一年となりました。3月に発生した東日本大震災は、日本における観測史上最大規模の地震であり、地震発生後に起こった津波は私達の想像を大きく超えるものでありました。また、紀伊半島と奄美地方を襲った豪雨災害にお

いても、多くの方が被災し、改めて自然の脅威を痛感させられた年でした。被災地では今なお、仮設住宅で生活する人や原発内で作業する人など過酷な状況が続いておりますが、復興に向けた新たなま

ちづくりや自立に向けた取組も進んでまいります。本町からも各被災地に災害義援金及び職員派遣等、復興の手助けをすることができました。これもひとえに町民の皆様のご協力あつてのものであります。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、国内の経済情勢は相変わらず厳しく、景気回復の兆しがなかなか見えて参りません。それに加え、先行きが見えづらいTPP問題など懸念事項が多くございます。町といたしましては国の動きが不透明な中、歳出を徹底的に

見直しながら二十四年度の予算編成を行っているところでございます。厳しい情勢ではございますが本年も町民の皆様と同じ目線で、地に足のついた行政運営を行って参る所存でございます。

本町においては、基幹産業であるサトウキビの今期収穫量が七万吨と非常に厳しい見込みとなっております。これは五月に発生した台風二号の塩害と、昭和五十六年以來の大干ばつによるものでございます。地下ダムを中心としたかんがい設備を活用し、被害の軽減に努めましたが大幅な減収となりました。今後はかんがい設備のさらなる有効活用・運用を進め安定した収量の確保に繋げて参りたいと存じます。

畜産分野においては、十月に喜界家畜市場が完成し、十分な敷地と利便性を兼ね備えた素晴らしいセリ市場ができました。また、その家畜市場において大島地区肉用牛振興大会が開催され、大島郡内から総勢300名の畜産農家と57頭の牛が集まり、大変活気あふれ

る大会となりました。本町からも生産者の方が手塩にかけて育てられた牛を出品し、見事総合優勝を飾ることができました。ご尽力いただいた全ての皆様に感謝いたします。

さて、今年四月には平成二十一年から進められてきた学校再編により、中学校一校、小学校二校、幼稚園二園の新しい教育体制がスタートいたします。この再編の最重要課題は、将来にわたり教育環境を整えることであります。喜界町の次代を担う子供達が、自分の可能性を広げ、未来へ大きく羽ばたいていくことが私達の願いでございます。学校の名前、数は変わつ

新しい歴史と伝統の創造



教育長 晴 永 清 道

ても、私達の思い出、地域の絆は変わりません。この学校再編を良いきっかけに、より一層互いの絆を深め、学校教育だけでなく地域の教育も活性化を図り、皆様と共により良い喜界町を作り上げていきたいと願うところでございます。

二〇一二年も全国的に厳しい情勢が続くことが予想されますが、町民の皆様には町政運営に、より一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに今年一年が素晴らしい年になりますよう祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

事故、奄美の豪雨災害など国難とも言える災害の起きた大変な年でしたが、今年こそは穏やかな良い年でありますように祈念いたします。

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は東日本大震災、福島原発

地区図画作品展や地区理科研究記録展、地区読書感想文コンクールなどで各学校が特選や入選を果たしたり、坂嶺小学校親子読書会が地区表彰を受けたりしました。スポーツ面でも第一中学校の陸上部が地区大会で男女優勝するなど活躍しました。まさに、『喜界島の子どももやればできる』ということを実感した年でありました。

今年はいよいよ学校が再編される年になりました。少子化等により、湾小学校以外は、複式学級の学校となり、体育の授業などでミニバスケットボールやドッジボールなどの学習ができなかったり、中学校では自分がやりたい部活動が選べない状況にありました。が、今回、学校再編が行われることによりこれらの問題が解決されることとなります。

また、学校再編が行われることにより、大勢の友達と交わりながら、集団活動を通して、社会性を育てたり、豊かな人間関係を築いたりする能力を身につける環境が整備されることとなります。

再編に向けて、開校される学校の改修工事も大半が終了しました。各学校長やPTA代表をメンバーとする学校再編準備委員会が再編に向けて校名選定、校章選定、制服選定、経営方針の作成等を行

い、再編推進委員会で決定したところ。また、子どもたちの安全な通学に向けて、民間委託による通学バスの運行方式等について再編推進委員会で決定致しました。

いよいよ四月から新しい学校が開校しますが、『二十一世紀をたくましく生きる力』の育成を基本理念にすえて、伝統文化の継承活動など『喜界島らしい教育』の推進や自らに誇りをもつ教育の推進などによる『やる気にみちた人材の育成』、将来を見据えた資格取得への挑戦など『キャリア教育』

を推進し、新しい歴史と伝統を作って参ります。

本年も、加藤町政が掲げる『健康で心安らぐ癒しの町づくり』『ふるさとと自らに誇りをもつ教育』の実現を目指して『やればできる』を合い言葉に、学校教育・社会教育を推進して参ります。今後とも町民の皆様が力強いご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

おわりに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念して年頭のごあいさつと致します。

町民の皆様とともに目指す

「美しい町、住みよい喜界島」



町議会議長 中島 智一

町民の皆様、新年明けましておめでとございます。

喜界町議会を代表し、謹んで新年のお喜びとともに、ご挨拶を申し上げます。

新しい年を迎えて、気分も新たに、喜界町の美しい自然、豊かな

昨年を振り返ってみますと、自然災害が日本列島を駆け抜けた年であったと思います。1月下旬、霧島連山の新燃岳の大噴火が発生し、3月11日、東北地方で東日本大震災に見舞われ、マグニチュード9.0の大地震と18メートルを超える大津波が発生し、家屋や田畑など、すべてを飲み込んでいく生々しい映像がテレビで流れ、さらには原発事故の発生とあわせて、死者・行方不明者が1万9千人余、避難者が一時10万人以上となる未曾有の大震災となりました。また、台風12号が和歌山県・奈良県・三重県と通過し、大雨による土砂崩壊で、多くの死者・行方不明者や孤立集落が発生しました。奄美においては、豪雨によって土砂崩壊による死者や家屋の倒壊の他、インフラが寸断され、こうした災害が2度も発生し、徳之島においては竜巻によって、死者や家屋の倒壊等がありました。

桜島の火山爆発が有史以来の記録を数えているようで、周辺住民を心配させているようです。こうした自然の恐ろしさを、まざまざと見せつけられた一年でした。

しかしながら本町にとつては、幸いにして大きな自然災害はありませんでしたが、昨年の夏場の異状気象は長期にわたり、6月の末から9月の中旬まで、干ばつと高温が続ぎ、農産物においては、サトウキビ・白ゴマの被害が甚大で

したが、加えてかんきつ類・島内産の園芸作物にとつても影響を与えました。

また、TPP（環太平洋連携協定）交渉で、アメリカや他の関係各国との話し合いが持たれるとのことで、日本の農業あるいは奄美のサトウキビ産業にも大きく影響するのではないかと心配しているところでもあります。

奄振事業の減額によって島内の基盤整備事業が縮小され、建設業者には厳しいしわ寄せが押しつけられてきています。国・県・町の関係者が、全員参加のもと対策を講じるよう、お願いするところでもあります。

9月に新しく完成した子牛のセリ市場は、畜産農家の拠点となることでしよう。一時、値を下げていた子牛価格も単価的には依然厳しいといえますが、底値をついて持ち直しの兆候がみえ、さらなる高値を期待するところでもあります。

平成24年は、冒頭にも申し上げましたが、喜界町のスローガンである「自ら学び、心豊かで活力に満ちた、潤いのある、町づくり」、さらには、「美しい町、住みよい喜界島」を目指していければと思います。

町民の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、新しい年を迎えるにあたって、年頭のご挨拶と致します。

女の子のメッセージ



二〇二二年の目標



前田 太志【赤連】
(湾小5年)

ぼくは、二〇二二年をむかえるにあたり、三つの目標を立てました。

まず一つ目は、苦手な算数をしっかり勉強して、しよ来の夢であるじゅう医の資格をとれるようにしたいです。また、動物に関する本をたくさん読んで、喜界島一動物にわくしい人になりたいです。二つ目は、空手で今やっている千本づき、千本げりの練習を続けて、自分より大きな人にも向かっていける勇気をもちたいです。三つ目は、来年は六年生になるので、今の六年生のようにきびきびと学校を引っ張る、たよりになるリーダーをめざしたいです。

二〇二二年は、この三つの目標

今年辰（たつ—龍）年。辰の字は「振」や「震」の元であり、雷や春の芽吹きなど、大自然の躍動・鳴動を象徴するそうです。また、龍は十二支で唯一、想像上の生き物であり、空を飛ぶことができます。今年辰年生まれが創造力豊かに飛翔し、シマツチュの心を震わせ、島やシマの振興に大活躍するかもしれませんね。ここで、辰年生まれの方からメッセージを披露します。



岩松 大和【中熊】
(坂嶺小5年)

新しくかがやく一年にむけて

ぼくは、坂嶺小のたった一人の五年生です。今までは、一人で学習していたことも、今年からは、多くの友達と勉強や運動に取り組みことができ、とても楽しみにしています。

スポーツ少年団では、野球に入っています。かんとはもちろん、六年生や同級生に教えてもらいながら、楽しい練習をしています。今年、ぼくにとっても環境が変わる大きな一年です。自分の意見をしっかり持ち、みんなと協力



中村 勝子【赤連】
(昭和39年生)

幸せは私の中にある

「幸せは、自分で作るもの。幸せは自分でつかむもの」
幼い頃、母はいつもこのように優しく、諭すように語りかけてくれた。当時は、幼さゆえにあまり関心をもつことができず、ただ何気なく聞いてやり過ごしていた。しかし、そのときの言葉はなぜか私の脳裏に鮮明に残っていた。それから年を重ね、自分の家族ができた。たくさんの人たちと出会い、たくさん経験を通して、母が教えてくれた「幸せは自分でつくるもの」、この言葉の重さや意味を、自分なりにかみしめるこ

とができるようになった。今は家族全員が健康であり、普通の暮らしができることへの喜び、そして、私を支えてくれる多くの人に恵まれていることへの感謝の気持ちでいっぱいだ。「幸せは自分で決める」私は、この言葉が好きだ。いつまでもずっと、みんなが幸せであることを願う。



中馬正登志【荒木】
(昭和28年早生)

男六十一 この島でつぶやく

還暦かあ、昔は人生五十年といわれていたそうだが、その五十はとうに過ぎて、はや還暦を迎えるか。実感ないなあ。そういえば数え四十九の時もそうだったな。昔の四十九はりっぱな大人で六十一ともなれば世の中のすべてをわきまえたおじいだったんだろ。自分がこれまでに見てきた先輩たちもすっかりした大人に思えたもんだが、それにひきかえ、おれは・・・まあそんなことはいか。還暦の祝いで多くの同窓生が集まることだし、島をはなれた同窓生も多く帰ってくるのだらう。

う。たのしみだ。昔、「ふるさとへ帰るところにあるまじ」といった人がいたな。よその土地で衣食になっても帰らないっていつているんだが、どういふことなんだろうね。人生いろんなことがあるだらう。でも、なにかあってもありのままの自分を受け入れてくれるところ、最後のよりどころ、ふるさとはそういうところだと思っし、そうであつてほしいな。おれも多くの人がそうであつたように、高校を卒業して島をはなれた。都会暮らしの中で「いつか島に帰る」、こういう想いがあつたようだ。明確な想いがあつたわけじゃないけど、結局そうなつた。自分の想いの中では「還る」というイメージだったのかもしれないなあ。十二年前のことだったか、広報きかいに辰年生まれ集合写真が掲載されていた。四十九が下段、六十一が中段、七十三が上段となつていた。上の三角のところが、みごとなピラミッド形をなしていた。その上に八十五をのせるときつちり収まるんだらうね。しまをみわたしても親の世代がずいぶん減つたし、結局そういうことなんだろうな、としをとるといふことは。



いずれ自分の番がくるんだが、そのときまでに「還る」ということを考えておこうか。まあすこしは間があることだろうから急ぎはしないけどな。

「ふるさと」という言葉で思いうかべるのは、うや、そうでえ、どうし、しまゆみた、そんなもんだらう。

これらを大事にしつつ、自分が生きているこの社会に感謝しながら、七十三をめざして生きていくことしよう。この島で。

(※編者註 中馬さんは巳年れですが、早生まれも前年生れの同学年と、年祝いや厄払いを同じくする島の素晴らしい伝統にのっとり、(少し早く)還暦を迎えるにあたっての思いを述べていただきました)

「島の人情と環境で育まれた心を持ち続ける」

—新成人81人が晴れの門出を飾る—



成人式にのぞむ男子42人・女子39人

長による「大震災などがあり厳しい情勢の中、皆さまのおかげで生まれ育った島で同級生らと再会して立派な成人式を迎えることができ、心から感謝します」とのあいさつではじまりました。

喜界町成人式実行委員会(玉岡悟実行委員長)などが主催する平成24年の喜界町成人式が1月2日、自然休養村管理センターであった。

加藤啓雄町長の式辞や中島智一町議会議長の祝辞、晴永清道教育長からの励ましの言葉の後、青年代表からの「新成人に贈ることば」として酒造業を営む喜禎浩之さん(湾)



前日には元旦駅伝で同窓の絆をつないだ

式に先立ってオープニングイベントとして、新成人の豊愛さん(赤連)と西商店こと西徹彰さん(40歳小野津)による島唄や三味線演奏と新成人の20年のあゆみや町の近況を紹介するビデオ上映があった。



オープニングから盛り上がった

は、12年前に島に帰ってきた時に目標を立てたこと、それらを実現し、さらに5年後、10年後の目標を立てていることなどを紹介しながら「離島はハンディであるが、都会にはない魅力

や長所も島にはあり、どこでも夢はつかむことができる。周囲の人や同窓生の絆を大切にしながら、島を常に思い、これからの人生を歩んでください。焼酎とも上手に付き合って」などと語りかけた。

また、3中学校を代表する3人が舞台に上がり、新成人としての抱負を述べた。



河村 優志さん (早中卒、嘉鈍)

新聞奨学生として朝2時に起床する時間に余裕がない生活をしているが、そんな中でも正しい知識と知恵を身につけ、将来の武器にしたい。統廃合で来春に母校がなくなるのは寂しいが、島がある限り新学校にも島の人情と環境は受け継がれる。私も喜界島を心の核として持ち続けたい。



友岡 芳成さん (二中卒、上嘉鉄)

大学で充実した生活を送っているが、日本経済の低迷で就職が厳しくなっている。だからこそ日々の生活に流されず、喜界島出身であることの誇りと感謝を忘れず、自分を信じて困難や挫折に負けない人間になりたい。



愛津 美咲さん (一中卒、大朝戸)

いま、鹿大で看護師の勉強をし、ボランティアでは在宅看護宅や病院などを訪問して、大学では学べないことも吸収している。一人暮らしをして両親や仲間のありがたさが分かった。これからも島への感謝を忘れずそれぞれの場所でごんばらう。

町民と町当局が15会場(地域)で行政懇談

学校編成を中心に農業や生活基盤のほか
集落や地区ごとの諸課題にも幅広く意見交換

町政懇談会は10月17日の花良治会場を皮切りに、12月14日の手久津久会場まで、加藤啓雄町長はじめ課長級職員も参加して15会場で開催された。各会場で懇談の前に、加藤町長が財政健全化やT P P（環太平洋戦略的

経済連携協定）問題、航路対策、水道の軟水化などの取り組みについて、晴永清道教育長は学校再編に関して、これまでの経過や新学校（園）の開校に向けての準備状況などについて報告した。

以下、各会場で出された主な意見や要望と、町当局による主な回答を紹介します。

Q II 参加者の意見・要望など
A II 町当局の回答など

主な懇談内容（学校再編）

Q 再編の目的は喜界島らしいたくましい21世紀を生きぬく子どもの育成ということだが、地域性が薄れてどのように教育するのか。

A 総合的な学習の時間で島について学び発表する時間があり、喜界島への理解を深めることをしている。

Q 学校の跡地活用については。

A 検討委員会を立ち上げ活用を検討している。地域住民の意向・利用が優先となる。

Q 学校跡地利用で産業教育は考えられないか。

A 営農支援センターや加工センターで学習の場を提供している。

Q 学校の備品の保管はどうなるのか。

A 机、イスは新学校へ。その他、テントなどはそのまま置いて地域で利用してもらいます。テレビ・デジカメ等は教育委員会でき取り、利用する学校へ貸し出す。

Q 校舎が老朽化しているが崩壊した場合どこが処分するのか。

A 2年間は集落の跡地利用案を待ち、案が出なければ町で利用・処分等をする。

Q 学校跡地利用時の補助はあるか。

A 民間委託での補助はないが、集落の利用については300万円を上限に補助がある。

Q 学校跡地に産業の誘致はできないか。

A 民間の企業があれば利用していただきたい。

Q 幼稚園は上嘉鉄・志戸桶の2園だが、若い人たちが住んでいる中心地に設置できなかった理由は。

A 湾幼稚園の敷地・園舎が狭い。財政的に今ある学校を利用するという観点、また上嘉鉄校区に学校がなくなることについて住民感情を考えた結果である。

Q 保育所で幼稚園のかわりに年長まで通わせられるか。

A 保育所から小学校へというのも可能である。

Q 幼稚園の再編についての説明を早めにしてほしい。

A スクールバスの時刻や預かり保育等について、説明が必要なので早いうちに説明会を開く。

Q 空いた教員住宅の利用はどうするのか。

A 町の財産にして利用を計画したい。

Q 自転車通学への補助はできない

か。

A 新一年生は自転車通学への補助も考えている。

Q スクールバスは町購入か業者購入か。

A 町が8台購入して業者委託する考えである。

Q 再編後一学級何人くらいになるのか。

A 喜界小学校362人で14学級。早町小学校103人で6学級。喜界中学校252人で9学級。

Q 再編により人口はどれくらい減るのか。

A 教職員だけで約60人、家族を含めて約80人と予想している。

Q 再編によって財政面でのメリットはどれくらいか。

A 校舎の維持費、人件費等で約1億2千万経費が浮くとの試算である。

Q 学校再編により制服は買い換えるのか。

A 新一年は購入。在学生は従来の制服を使用する。

主な懇談内容（その他）

Qフェリーの日・月運航はできないか。

A 全国の中でも群を抜いて赤字航路であり、走れば走るほど赤字が増えるという状況のなかでは難しい現状である。

Qフェリーきかいの更新時期はいつごろか。

A 15年を過ぎて耐用年数は超えている。2・3年後を目途に海運会社が新造船を建造予定。現在、協議会を立ち上げて将来的に赤字を減らす方策等を検討している。今のところは現状維持の体制でいけるよう努力している。



花良治会場の様子

Q 湾小校区や坂嶺校区は水道水の硬度がかなり高い。浄水場電気透析施設はいつ工事が始まり、いつ供用できるのか。

A 平成23年度から平成27年度を予定。漏水、むだ水を出さないためにパイプの入れ替えからはじめる。浄水場は今年度設計委託。建設に3年ほどかかる。27年度までの供用開始を予定。浄水場は池治集落の上、滝川集落の下に建設。建設費は35億。

Q 水道の水圧が高い。減圧弁は設置できないか。

A 対応する。

Q 風車が回らないのはなぜか。

A 農水省が整備した農水省の財産である。故障が多く修繕費が高つくのでそのままである。

Q 浄化槽の設置義務が課せられているが、町の浄化槽設置補助をわかりやすくしてほしい。

A 合併処理浄化槽設置補助はその年度によって違うので、担当課である水環境課へ照会してもらいたい。

Q 水道水は農薬の残留などはないか。

か。

A 電気透析をしてカルシウム分を取ると同時に化学肥料の成分である亜硝酸性窒素を取り除く。農薬は厳しい使用基準があるのであまり心配していない。

Q 宮戸住宅の今後の建設計画は。

A 10年間かけて住宅建設を予定している。

Q 農業経営の適正規模についてどう考えるか。

A 本町は農業経営の規模拡大は進んでいる。その一方、農家戸数は減っているのが現状である。働く場所の確保が大切だが、今後考えていかなければならないのはキビ専作ではなく、小規模農業が生き残れるバランスのよい農業経営である。

Q TPPについての勉強会をしてほしい。

A 農業だけではなく、医療、介護等にも影響が出るが、国の情報開示がない状況である。

Q 買い物袋に名前を書いてごみを出せないか。

A ごみ処理には経費が多くかか

る。処理費用を負担いただくために指定ごみ袋を販売しているので、ご理解いただきたい。

Q ごまの活用については。

A ごまの加工については町で洗浄機・選別機を整備したので利用してほしい。

ごま・黒糖など統一した基準が必要。お互い気をつけて安全・安心な商品作りを目指してほしい。学校跡地をごま加工生産拠点にするというのもひとつの考えではないか。

Q 若者の就農についてどう考えるか。若手のリーダーがいらないのではないか。

A 若者の就農については糖業振興会・畜産振興会・花き振興会・果樹振興会等多くの振興会があるので参加してほしい。また、営農支援センターで研修もでき、町の施設を貸して育成もしている。農業青年クラブが発足し18名の若者が研修会を開催したりポタンボウフウや黒さつま鶏などの育成に取り組んでいる。若者の定住、就農は大きな課題である。

Q 加工所が早町の方にも欲しい。



手久津久会場の様子

A 学校跡地等を利用して加工品製造組織等を立ち上げたら、町も支援していきたい。奄振事業もこういうものに使うように変わってきている。

Q 津波が来たときはどこへ避難すればいいのか。

A 現在、防災担当の方で自主防災組織の強化、エリアメール、防災無線のデジタル化、電柱への海抜表示やハザードマップで津波に対する標高の色分け作業を進めているところ。防災計画がまとまれば早めに避難訓練も実施したい。

社会福祉法人秀心会 職員募集のお知らせ

職 種:保育士

勤務地:喜界町(ひまわり第一、第二保育園)

お問合わせ期間:平成23年12月~平成24年2月29日

新卒、経験者、明るく元気な
保育士さん募集中です。

(パートも可)



H24年3月千葉県船橋市に特別養護老人ホーム開設



●●施設の概要●●

開設法人 社会福祉法人秀心会
理事長 徳田 秀子

施設名称 特別養護老人ホームつばい愛の郷
施設住所 千葉県船橋市坪井町146-1
事業内容 特別養護老人ホーム100床
構 造 RC造 地上3階建て
開設日 平成24年3月1日

お知り合いの方で、千葉県在住の方が
おられましたらご紹介ください。

看護師・准看護師・介護職員
ケアマネジャー
計50名募集中

お問い合わせ

〒891-6202

鹿児島県大島郡喜界町湾1794

社会福祉法人秀心会

理事・園長 久保 一也

TEL0997-65-0264 秀心会本部 (ひまわり第一保育園内)

fax0997-65-3145

●平成25年3月開設予定施設●

開設法人 社会福祉法人秀心会
施設名称 (仮称)高根台高齢者複合施設
施設住所 千葉県船橋市高根台二丁目3番12
事業内容 地域密着型特別養護老人ホーム
グループホーム・デイサービス
高齢者専用賃貸住宅 計108床
構 造 RC造 地下1階、地上5階建て

喜界島の方言を残そう…⑧

田窪 行則（京都大学文学部研究教授）

喜界島の方言調査で一番驚いたのは、20代の方が方言を非常に正確に聞き取れることでした。方言調査で「若い」というのは普通60代くらいの方を指しますが、喜界島では20代でも、聞き取りできる方がいらっしやいます。調査の時は20代の方が共通語で70代の方にインタビューするという形で収録しましたが、非常に自然な形で話が進みました。我々は生まれて初めて聞く方言を、調査の後で書き起こす作業を割り当てられていたのですが、20代の方が会話を正確に聞き取れたおかげで、全文を書き起こし、その会話に出てくる単語に共通語訳をつけ、簡単な文法も作ることができました。

喜界島の言葉は琉球列島の他の言葉と同じように消滅の危機にあると言えます。理解はできるけれど、普段の会話を方言で行わなければ、世代間の継承は止まってしまいます。次世代に喜界島の方言を継承するためには、この受動的な知識を能動的な運用能力に転換しないといけないのです。これは自然にはで

きず、なにか特別な契機と努力がありません。例えば、英会話クラブを作るように、喜界島上嘉鉄方言会話クラブを作り、無理にでも話せるようにはなりません。しかし、受動的な知識は必ず能動化できることがわかっていきます。聞き取りができる喜界島の若い世代の方が方言を話し、次の世代に方言を継承するために、様々な形でお手伝いができればと思っています。



上嘉鉄での方言調査の様子

国土交通省鹿児島運輸支局からのお知らせ

次の行為は法律に違反することをご存じですか？

- ① 自家用車で人を運び、金品を受け取ること。
- ② 軽トラック事業者が、荷物と一緒に人を運ぶこと。
- ③ 運転代行業者が、代行車（随伴車）に人を乗せて運ぶこと。

自家用車（「白」または「黄」ナンバー）、または、トラック業者の車両（「緑」または「黒」ナンバー）で、旅客（人）を運送し、金品を受け取ることは、法律により禁止されています。

住民の皆さんは、上記車両を、バスやタクシー代わりに利用しないようお願いします。



これらに関する相談、お問い合わせ等は、下記までご連絡下さい。

九州運輸局鹿児島運輸支局（099-261-9192）
大島自動車検査登録事務所（0997-52-0757）

富さん政井さんが 明るい選挙推進運動で 永年勤続表彰

県明るい選挙推進協議会大島支会はこのたび、不正のないきれいな選挙と投票総参加への運動に10年以上取り組んでいる富豊西さん（上嘉鉄東）と政井平進さん（阿伝）を表彰した。その伝達式が12月9日、役場町長室であった。

両人とも平成11年4月から現在まで12年以上に渡り、選挙期間中などに町選挙管理委員会と共同して、街頭での「きれいな選挙と投票行動参加」を、直接町民へ訴える運動に取り組み続けている。



シマの話題

その1

島の素材で「しま一番コンテスト」

最優秀賞に

加工食品部門「花良治胡椒」
工芸品部門「草木染織り帯」

地域の素材を生かした島一番の特産品を選ぶ「しま一番コンテスト」(奄美群島観光連盟主催)が12月8日、役場コミュニティホールであった。

加工食品、工芸品の各部門に6業者から13点の出品があり、奄美群島特産品開発アドバイザーの内田勝規さん、県特産品協会の池田誠さん、町観光協会の松田裕道さ



審査の様子

んが、試食や出品者のアピールを聞きながら、地域性や独創性の他、製法技術や量・サイズ・価格などの市場性、観光客の好奇心や興味を喚起するかの誘客力などについて審査した。

審査の結果、最優秀賞には加工食品部門で「花良治胡椒」(ティダ・ワールド)が、工芸品部門で「草木染織り帯」(喜界島草木染工房)が輝き、優秀賞にはフスーやゴマをジャムにした「薫りのコンフィチュール」(結びグルーブ喜界)、奨励賞には「旬の黒砂糖(粉タイプ)」(喜界島工房)が選ばれた。

審査を終えて内田さんは「群島内各島で開催しているが、喜界島が一番レベルが高く甲乙付けがなかった。これからは『旬』が重要で、『今しか、ここできしか買えない』という付加価値を付けるべき。わざわざ高い旅費で来てくれた客の目線で、遠慮なく価格設定すべき。

簡単に思いつくのはライバルが多いので独自性が必要。おいしさは一定の基準を越えると、あとは個人の嗜好になる。万人受けをねらう必要はない」などと講評した。

最優秀賞を加工食品部門で受賞したティダ・ワールドの川村秀子さんは「島の素材を活かしながら島をアピールできる商品開発がしたい。ひとつの商品を開発するのは膨大な時間と試行錯誤が必要だが、これからも精進したい」、工芸品部門で受賞した喜界島草木染工房の大島順子さんは「島の植物から元気をもらっている。まだ未熟だがこれからも島の植物にこだわり続け、研究を重ねて島をアピールしたい」とそれぞれ受賞を喜びながら先を見据えた。

なお、最優秀賞を受賞した両者は、平成24年2月16日から24日まで東武百貨店池袋店で開催される「大鹿見島展」に出展するという。



町長に作品を説明する大島さん

へらせ！アリモドキゾウムシ ふやせ！おいしいおいも

喜界地区アリモドキゾウムシ防除対策協議会では12月7日、「アリモドキゾウムシ根絶標語・ポスターコンクール」の表彰をした。

町内の小学校児童を対象に作品を募集し、標語262点、ポスター106点の中から最優秀賞に選ばれたのは、標語の部が「へらせ！アリモドキゾウムシ ふやせ！おいしいおいも」の竹内桃香さん(湾小4年)、ポスターの部が揃江翔大くん(湾小2年)。竹内さんは「安心しておいしいイモが食べれるように」と作品の特長を説明した。



ポスターの部 最優秀賞
(作：揃江 翔大くん)



表彰の様子

世界初となるか？島でCG病撲滅！

国・県・町で一体となって取り組んできたカンキツ類に被害を与えるCG(カンキツグリーニング)病の防除作業が12月12日から16日まで、町一円で行われた。

防除作業は、CG病を媒介するミカンキジラミを農薬散布で駆除する方法がとられた。門司植物防疫所名瀬支部では「これまで国の事業として喜界島で防除作業が続けられてきたが、1月の島内全域調査で感染がなければ、遅くとも4月には世界初となるCG病撲滅が宣言される」としている。

なお、植物防疫法により喜界島からCG病未発生の本土や奄美大島へミカン類やゲッキツなどのカンキツ類を持ち出すことは禁止されている。



防除の様子

南さん日本代表でキプロスへ
ウエイトリフティング選手権



ジャークで 120kg を上げる南さん

志戸桶在住の南充宏さんが11月3日(日本時間)、キプロスのリマソール市で開催された「世界マスターズ・ウエイトリフティング選手権大会」に日本代表として出場した。キプロスはトルコの南東地中海上に位置する四国の半分ほどの島国である。

喜界島から関西国際空港、アラブ首長国連邦のドバイ国際空港を経て、丸一日以上かけてキプロスに乗り込んだ南さんは、45〜49歳77kg級に出場。バーベルを一気に頭上へ持ち上げるスナッチで100kgに成功し1位通過したものの、第一動作で肩まで



乗り換えて世界中の富が集中するドバイも訪問

持ち上げて第二動作で頭上まで上げるジャークでは120kgに終わり、ヨーロッパ勢に逆転され5位となった。南さんは「優勝のウクライナ選手とは7kg差、3・4位とは1kg差で、少し悔いの残る結果だったが、会社の同僚や周囲の理解があつてここまで来れた。貴重な経験を積ませていただき感謝したい」と振り返った。

また、友人の米田信也・真由美さん夫妻もマネージャーとして同行し、英語の通訳としてもサポート。ホテル内であつた歓迎パーティなど世界各国の選手たちと交流し、国際親善と喜界島の紹介にも一役買ったという。

キプロスの印象を聞かれた南さんは「治安がよく、島国だけあつて気候風土も島に似ており料理も口に合う。日本製品も街にあふれていて、落ち着いて大会に集中で

きた。美人も多かったですよ」と答え、「今後も健康づくりを兼ねて練習を続け、次回もできればねらいたい。練習仲間も募集しているので、私を見かけたら気軽に声をかけて」と付け加えた。

喜高創立記念「喜高塾」開催
第1回卒業生の喜久さん講演

県立喜界高等学校(藤崎健一郎校長)の創立を記念して毎年開催されている喜高塾が11月4日、第1回卒業生の喜久秀人さんを講師に迎えて同校武道館であつた。喜高塾は、今回で4回目となる。

喜久さんは「八十歳にして思うこと」と題して講演。「喜界高校は当初、与論高校とともに大島高校の分校となる予定であつたが、(喜久さんら)当時の若者が

議事に直接働きかけ、独自に教師のリストをつくるなどして周囲を説得。ついには単独での高校設立を実現した」との喜高誕生の経緯をはじめ、「最近、島の子どものあいさつが良くない。誰にでも大きな声で、きれいなあいさつを」、「今では青壮年が八月踊りを踊らなくなった、皆さんは積極的に踊りを覚え、島の文化を守って欲しい。そうすれば島に愛着がわく」、「日本復帰前、本土で勉強が



後輩たちに語りかける喜久さん

したく、米軍に手紙を送って思いが通じた。電気もないところで勉強していた劣等感があつたが『頭の質は同じ』と苦手意識を持たなかった」、「震災後に略奪などあまりなかったが、外国ではこうはならない。日本は20年しか戦争をしていない。学術やスポーツ、国連分担金の高さなど、世界に誇れるものが多い」など、身近なふるさとのことから国際的な事柄まで、幅広く後輩たちに語りかけた。

講演後に牧口桃子さん(普通科2年)は「喜界島に住んでいることに、少し劣等感があつたが、喜久先生の講演を聞いて考えが変わつた。また、日本は素晴らしい国であり、平和に不自由なく暮らせることに感謝しようと思つた」と感想を述べた。

空港侵入者を想定して訓練
関係機関が協力体制を確認

喜界空港で12月12日、「不法侵入事案発生時における緊急対処対応訓練」があつた。

訓練は、飛行機から降客した男性がそのまま滑走路へ進入、これを発見した空港職員が警察へ通報し、警察官が素早く不法侵入者を捕獲する、という流れで行われた。

侵入事案発生が10時30分で、職員の事案発生確認および警察への通報が10時32分、警察の現場到着が10時36分、不審者の身柄確保は発生から約8分後の10時38分であつた。10時39分には、事案発生を受けて現場に駆け付けた加藤啓雄緊急事案対策本部長(喜界町長)に最終報告をした。

訓練には他に、県喜界事務所や奄美航空、警備会社などが参加し、緊急時の連絡協力体制を確認した。



警察が不審者の身柄を確保

教育委員会のおびり

教育委員会活動の点検・評価報告

平成十九年六月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成二十年四月一日施行）」の一部が改正されました。各教育委員会は、毎年その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することになっていきます。

本町は、十二月八日の議会で提出・報告をしました。町教育委員会では、十二項目の重点課題の中から、本年度は、「基礎学力の定着・向上の取組」、「安全で安心な学校給食の取組」、「文化振興の取組」及び「生涯学習充実の取組」等を対象テーマとしました。

教育行政評価会議と町教育委員会教育委員による評価によると、「児童生徒の学力向上について一定の成果を挙げているが、教科によっては、学力の差が生じている。キャリア教育と関連付けた指導を行うなど対策を講ずる必要がある。」「給食センターの『食物アレルギーへの対応』は、対象者ごとの対応を

積極的に行っており、評価できる。今後も継続して取り組んでいただきたい。」等の意見が出されました。

今後も町民の皆様の意見を参考にしながら、充実した事業を進めてまいります。

「第一回豊かな心を育てる読書大賞（前期）」表彰式

十二月六日（火）に平成二十三年度「豊かな心を育てる読書大賞（前期）」の表彰式が喜界町役場多目的室で行われました。

読書活動は、子どもが「言葉を学ぶ」「感性を磨く」「表現力を高める」「創造力を豊かなものにする」等、豊かな心を育てるために欠くことのできないものです。喜界町教育委員会では、平成二十一年度から子ども豊かな心を育てるために、「豊かな心を育てる読書大賞」を実施しており、今年で三年目になります。

「多読者の部」は、前期（四月～九月）に、喜界町内小一～中三までの児童・生徒を対象に、喜界町図書館や、学校図書館、各学級文庫で借りた本の個人の総数を各学校で集計し、各学年の

中で、最も本を借りた子どもを「多読者」としました。「読書感想文コンクールの部」は、四～八月までに児童・生徒が書いた読書感想文について審査を行い、各学年の最優秀賞を決定しました。



「豊かな心を育てる読書大賞」表彰式

受賞者は左記の通りです。

【多読者の部】

- 小一 長峯 心愛（湾小）
 - 小二 今井 有夏（荒木小）
 - 小三 伊地知 奈々（湾小）
 - 小四 信岡 勇貴（荒木小）
 - 小五 大岡 将（荒木小）
 - 小六 池田乃愛（志戸桶小）
 - 中一 信岡 康貴（第一中）
 - 中二 安里 梨奈（第一中）
 - 中三 築瀬 麗央（第一中）
- ### 【読書感想文コンクールの部】
- 小一 當原 大陽（坂嶺小）
 - 小二 大平 善士（上嘉鉄小）
 - 小三 山田 帆乃佳（湾小）
 - 小四 久保 幸作（荒木小）
 - 小五 叶 眞優希（湾小）

- 小六 山田 海人（阿伝小）
- 中一 中山 真紀子（第一中）
- 中二 叶 未来（第一中）
- 中三 酒井 亮太郎（第一中）

荒木小児童「郷土を学ぶ」

十一月に荒木小は、「郷土教育」について研究公開を行いました。「郷土の素材で生き生きと郷土を学ぶ学習指導のあり方」を研究主題とし、ふるさとのよさを知り伝え合う子どもを育てるために研究を進めてまいりました。郷土の素材や地域の人材を活用した授業、郷土について学んだことを伝え合う場について研究の成果を発表しました。

当日は、ソテツの葉を使った生活科の授業、荒木に伝わる棒踊りを題材とした自作資料を活用した授業を公開し、参観した先生方と一緒に郷土教育の在り



方について研究を深めることができました。

「学びの祭典」開催される

—公民館講座など閉講式—

社会教育学級講座（公民館講座・地域講座、高齢者学級）の合同閉講式と公民館まつりが十二月十一日に休養村管理センターで行われた。

公民館講座と地域講座合わせて三十三講座と九高齢者学級の受講生、総勢二百五十余名が参加。



三十講座で五月から始まった公民館講座。七ヶ月間、十四回の授業が行われ、そこでの学びや修得を発表するのがこの「公民館まつり」。

閉講式では、各講座の皆勤者の表彰が行われ、代表で一宮俊夫さんが受けられた。講師や関

係者への謝辞を、受講生を代表して依田美奈美さんが述べられ、その後各団体による舞台発表へと移行した。

昨年度より出場団体が増えた舞台発表は、公民館を利用して同好会活動を行っているダンスやエイサー、手話グループなども加わり多彩な演舞・芸能が披露され、二時間半の長時間にわたるにぎわいぶりであった。

ステージ発表に先立ち、煎茶道教室の受講生によるお手前の披露が昼の部屋では行われ、



四十六名の方々茶の湯の席を楽しみ、会場ロビーでは、生花や書道教室など十三教室の受講生が端正込めて仕上げた作品の展示があり、年々増える作品数と精緻を極める質の高さが観覧者の目を引いていた。

翌日の月曜日午前中まで期間延長された作品展示。当日来られなかった方々が年の瀬の慌ただしさを忘れるかのように鑑賞されていた。

公民館まつり終了後は、忘年会を兼ねた講座打ち上げも独自に準備され、各講座の自主的閉講式が場所を変え、それぞれの会場で楽しくにぎやかに行われたという。

習うこと、学ぶことそしてその成果を発表し一緒に楽しむこと。それが次への学びの意欲となる、そんな学びの祭典となった。

島唄・シマゆみた大会の参加者を募集します

二月十九日に中央公民館で『島唄・シマゆみた大会』の開催を予定しています。

民謡や方言を通して、故郷の文化への関心を深め、ひいては、喜界島全体への理解が深められることを目的としています。

「島唄部門」は、島内で民謡を習う初心者的一般成人や児童生徒を対象に行い、「シマゆみた部門」は、シマゆみを話し聞く機会を増やし、皆で方言を楽しむことを目的とします。

町民の皆さまへ大切なお願い！

本町は「日本で最も美しい村」連合に加入しています。

不法投棄は法律で禁じれていますが一部町民によります電気製品・家庭ゴミや肥料袋等の不法投棄場所が見受けられ苦情が出ております。農業用の農薬缶や肥料袋等は産業振興課で毎年回収作業も実施しております。必ず利用してください。

町民みんなの声かけでゴミの不法投棄や空き缶のポイ捨てが無いようお願いいたします。

農業用として使用を終えた農ビ・農PO・農ポリなどの廃プラは、産業廃棄物です。

産業廃棄物の処理および清掃に関する法律で、「事業者（農家）は、その事業活動（生産活動）に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない」と義務づけられています。



美しいシマ（村）を守るのは、あなたです！



違反した場合の罰則が強化されました。

- 不法投棄に対し、5年以下の懲役・1,000万円以下の罰金（法人に対しては、1億円の加重罪）
- 野焼きに対し、3年以下の懲役・300万円以下の罰金

年金の請求手続きをお忘れではないですか？

年金を受けるために必要な要件

- ① 国民年金の保険料を納めた期間
+
- ② 国民年金保険料の免除、または学生納付特例等の納付
猶予等の承認を受けた期間
+
- ③ 昭和 36 年 4 月以降の厚生年金保険の被保険者および
共済組合の組合員であった期間
+
- ④ 第 3 号被保険者であった期間
《厚生年金保険や共済組合の加入者である夫（妻）に
扶養されていた妻（夫）》
+
- ⑤ 国民年金に任意加入しなかった期間
(昭和 36 年 4 月から昭和 61 年 3 月までの間に、厚生年金保険・
船員保険・共済組合に加入している方の配偶者で国民年金に
任意加入しなかった期間や海外に在住されていた期間など)
||

①から⑤までの期間を合算して、**原則として 25 年以上ある方は、**年金の請求が可能な年齢に達したら手続きをすることができます。

注) 受給要件期間が 25 年に満たない方でも、**60 歳からの任意加入や特例により要件を満たす場合があります。**

◎ 60 歳に達した方で、まだ年金請求の手続きがお済みでない方は、ご自身の年金の記録を確認してみてください。

[問い合わせ先]

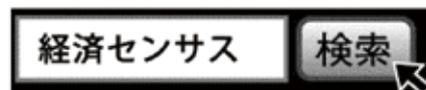
喜界町役場 住民課年金係
☎ 65-1111 (内線 984・33)



平成24年経済センサス－活動調査を実施します

「経済の国勢調査」です。
全国すべての企業・
すべての事業所が対象です。

- 調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。
 - 調査票は、平成24年1月末日までにお届けしますので、2月1日以降に提出してください。
 - この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
 - 提出された内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。
 - 経済センサス－活動調査では、電子メール等で経理内容の回答を求めたり、金品を請求することはありません。
 - 調査員が調査対象事業所に調査票を配布し、記入済みの調査票を回収します。
- ◆調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御回答を
よろしくお願いいたします。



<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

総務省・経済産業省・鹿児島県・喜界町

ミマの話題

その2

早町中学校で絆を深めて「ラストラン」

—第53回校区内一周駅伝大会—

早町中学校（市來公洋校長）は12月4日、第53回校区内一周駅伝大会を開催した。

来年度の学校再編により最後の大会となることから、生徒の他に校区内の高校生や同校卒業生もあわせ、14チームが参加した。また、休日に開催されたことから、沿道の声援も例年に増して多かった。

レースは郡山商店（花良治）前をスタートし、校区内8区間を駆け巡りながら中学校がゴール。沿



校区の西端・花良治をスタート！

道の声援とゴールが近くなるにつれて大きく聞こえる校歌が、最後まで選手たちを奮い立たせた。

なお、総合の部（一般参加）は高校1年生チームが、中学生の部は2年生Aが優勝した。

生徒会長の向井結子さん（2年）は「最後までということで地域の方々にも参加していただき、今まで以上に盛り上がった。沿道の声援もあつて全チームがゴールまでタスキをつなぐことができ、早中での



大先輩も余裕でゴール!?

よい思い出ができた」と感謝しながら話した。

参加した卒業生らも「生徒だけでなく、校区全体のきずなを深める最高の駅伝大会となった」と話していた。

（※この記事は、職場体験学習で役場企画課を訪れた米盛幸汰さん（喜高2年）が執筆したものを少し編集して掲載したものです）

一流ランナーの走りを体感 〜荒木小・陸上教室〜

荒木小学校（佐藤伸一郎校長）は11月11日、文部科学省の小学校体育活動コーディネーター派遣授業の一環として、鹿児島市のNPO法人SCCから大山賢弥さんを講師に招いて陸上教室をした。

大山さんは前半、体育館で準備運動やスキップなどで体をほぐす際、膝や踵の位置や腕振りの役割などを詳しく説明し、後半は屋外でスタートダッシュや中間走のフォームなどを指導した。

最後は、5・6年生と大山さんで50mハンディキャップ競走をした。大山さんは10メートル以上のハンディをものともせず子どもたちを抜き去り、低学年の子どもたちは「すごい。速すぎる」とおどろきの声をあげていた。

参加した岡本優くん（5年）は「スタートしてすぐ顔を上げていたけど、大山先生からスタート後の5歩ぐらいは頭のとっぺんをゴールに向けて走ったらいと教えてもらった。意識して走ると、本当にいつもより速くなった」と成果を実感していた。

（報告：若山深志同校教頭）



だいぶ速くなったよ！

年代を超えてバレーで交流 〜混成年代別バレーボール〜

第7回混成壮年年代別9人制バレーボール大会（町バレーボール協会主催）が12月4日、町総合体育館であり、A級は39年生辰巳会が、B級は36年生が優勝した。

大会は各年代ごとに16チームが参加し、豪快なスパイクや見事なレシーブの応酬がある中、珍プレーも続出。各年代のプライドがぶつかりあう白熱したゲームが繰り広げられた。また、昭和10・20

年代生まれの合同チームも参加し、年齢を感じさせないプレーを披露していた。

A級決勝戦で、往年の喜高バレー部エース北村忠広選手を擁する44年生との死闘を制した39年生辰巳会の向井康治監督は「まさかへの景気つけになった。もちろん連覇をねらう」と意気込んだ。

〈大会結果〉

〔A級〕

優勝 39年生辰巳会

2位 44年生シシーボーズ

〔B級〕

優勝 みろく会（36年生）

2位 SARU31



最高齢67歳もハツラツプレー！

すこやか ニユース

あけまして
おめでとうございます！
本年もよろしく
お願いします。



メディポリス指宿で、粒子線
がん治療が行われています！

粒子線治療のメリット

- ・痛みを伴わず、副作用が少ない
- ・仕事を続けながら通院での治療が可能
- ・高齢者など手術できない方も可能
- ・日常生活への速やかな復帰が可能

県では、粒子線治療に伴い、利
子補給事業も行っています。粒子
線治療は全額自己負担で高額（約
288万円）です。そのため、メ
ディポリス指宿で治療を受けられ
る患者さんやご家族が、治療費の
借り入れをした場合の利子の一部
を助成する制度があります。

詳しくは、県庁地域医療整備課
099(286)2693へお問い
合わせください

低線量CT肺がん検診

県では、低線量CTによる肺が
ん検診費用の一部助成を行って
います。

肺がんによる死亡は、本県の
んによる死因の第1位で、増える
傾向にあります。そのため、多く
の方に肺がん検診を受診して
いただけるよう、検診費用の一部を助
成します。

- 【対象】** 県内に住所を有する50歳以上の方
※肺がん治療中や治療後の方、精密検査目的
の方を除きます。
- 【検診費用】** 3,150円
(通常の検診費用の3割以下の額です)
- 【受診するには】** 県と契約した検診機関に直接電話で予約
お問い合わせください。
※県への申し込み・手続きは不要です。
- 【持参するもの】** 受診の際は、住所と生年月日が確認でき
る書類(運転免許証など)をお持ちください。

あなたの肝臓と心は大丈夫？

喜界町の男性の死因は、肝疾患、
自殺が国の平均の2倍以上ありま
す。どちらもお酒との関係も考え
られます。今年は健康のために、
お酒の飲み方を見直してみませ
んか？



お酒と肝臓

お酒が分解されるまでの時間
ビール500cc ↓ 5時間
焼酎1合 ↓ 9時間

肝臓で分解されるのにかなり時
間がかかります。遅くまで飲んだ
翌朝は酒気帯び運転にも注意！1
日60℃(純アルコール)以上の常
習飲酒者は肝障害を起こす可能
性が高くなります。進行すると肝硬
変など重症化し命に関わります。

不眠・うつとお酒

「眠れなくてつい飲酒してしまう」
「睡眠薬はクセになりそうでお酒

で眠った方がよい」という方はい
ませんか？

医師の処方する睡眠剤は適切に服
用すればクセになることはありません。
お酒は次第に量が増えてア
ルコール依存症の心配も。睡眠
の質も悪くなります。飲み過ぎは
気分を落ち込ませる作用などもあ
り、うつ病や自殺の危険も高まり
ます。

適正飲酒のすすめ

*1日純アルコールで20グラム
〔ビールなら500cc、焼酎
なら70cc、日本酒なら180
cc(1合)〕まで。

*週に2日は休肝日を持つとう。

訂正

12月号の「世界エイズデー」で
掲載のシンボルマーク「レッドリ
ボン」が、乳がん早期発見のシン
ボルマーク「ピンクリボン」になっ
ておりました。お詫びして訂正し
ます。



3歳児健診でむし歯ゼロだったよ！



中井 美音ちゃん



富 勘太郎くん



基井 心美ちゃん



梅田 華音ちゃん



牧田 莉瑚ちゃん



美島 虎白くん



西岡 和真くん

喜界歌壇

〈ミーシング会〉

新年の円かなる月冴えざえと
夫と見上ぐる詣での帰路に

嶺倉 祝子

育ちゆく孫への夢を抱きつつ
光あまねし初日拝む

林 蓮香

※先月号の林さんの歌にある
「ひらすら」は「ひたすら」の誤
りなので訂正します。

夜半覚めて世相を思う老いし吾
土を命と生きしにTTP

有村 道子

新しき水湛えたる水盤に
春活けおれば小鳥寄り来る

平尾 チヨ

幾断層登れば百之台海遙か
日は照らしゆく隆起の島を

弥島 幸子

〈萌葉会〉

地球規模憂きこと多き年の暮れ
明るき未来新年に祈

豊島 瞳

新春の身を引きしめていける花
門松立てて祝う御台膳

豊島 文子

枯尾花父抱えし提出物ほうき
床しく思ふ学童の頃

前田喜代美

雨の日の静かなひととき母親と
しばし語らい心なごます

平島 初子

夜光貝古代人と出現れし
千年の眠り何を語らむ

井澤紀美子

肌が知る暑さ寒さに日々おもう
震災地北の人の身の上

美代 イシ

伝えるに言葉は要らず手をとりにて
領き返す家族の絆

徳 成寿



戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん



氏名 保護者 住所

梅田 ゆあ・隆二・湾

富田 そら・哲郎・上嘉鉄

向井 さな・健治・湾

大喜 こうせい・孝紀・杏桶

吉見 しん・博幸・中里

谷口 晃・雅彦・湾

赤連・濱崎 敏子・82才
手久津久・森元 菊江・90才

赤連・積 富一・87才

赤連・佐藤須為一・91才

中里・本田澤一郎・86才

上嘉鉄・岩崎 惠一・83才

伊実久・大倉キクヨ・71才

上嘉鉄・巖 時雄・82才

川 嶺・喜島 幸・89才

いつまでも

お幸せに

氏名 住所

吉田 圭吾・川 嶺
菊地 一美・荒木

志戸桶 花岡 俊夫
手久津久 瀧 千賀子
奈良市 吉行 弘光

志戸桶 濱崎智恵美
東京都 森元 正光

先内 永 マサエ
伊実久 大倉 修

ごめい福を
お祈りします



住所 氏名 年齢

中熊・永 肇・90才

中里・豊 トモエ・91才

湾・吉行 多一・80才

喜界町の推計人口

平成23年1月1日現在の推計人口は、2月号に掲載します。

今月の
ウヤフジ訓 ⑰

ムトウドウ

(根本こそ)

ムトウナユル

(根本である)

解説

「物事の道理、天下の理(ことわり)は不変である」との言葉。

当然ながら「根元が先で枝葉は後、親が先で子は後、水は低いところへ流れる、首は後ろに回らない」が道理であるが、『石が流れて木の葉が沈む』『無理が通って道理が引つ込む』ことのないきよう、「渡る世間の当たり前の約束事や秩序、道徳を、当たり前として守れ」とのムナイツキ(教訓)である。

「税で創る、あかるい未来」

1月31日は、

超県民税4期分

国民健康保険税5期分

の納付期限です。

納期内に納めましょう。

先月号7ページ下にあるBクラ
ス優勝は荒木ではなく、早町です。
お詫びして訂正します。



サザンカ(山茶花)

山口県や四国南西部以南が原産地のツバキ科ツバキ(カメリア)属の常緑低木。ツバキ類の中国名「山茶」の日本読み「さんさ」がなまってこの名が付いた。ちなみに「お茶」もツバキ類であり、よく似た白い花を咲かせる。つまり、ツバキ類は山にある「お茶」である。

花の少ない晩秋から初冬にかけて咲き誇り、正月を過ぎても楽しめる。ごく近い種で花も似るツバキは花全体が落下するが、サザンカは花びらが一枚ずつ散る。江戸期よりさかんに品種改良され、花の色はピンクや白、赤などで、八重咲きもある。原種は白であり、花びらも小振りである。

お茶の葉の収穫で分かるように、刈り込みに強いことから生け垣によく使われる。童謡『たきび』の歌詞にある♪かきねの かきねの まがりかど♪の垣根はサザンカであり、続く♪たきびだ たきびだ おちばたき♪の落ち葉も、秋ではなく冬に落葉するサザンカである。

江戸時代、出島(長崎)のオランダ商館に赴任していたスウェーデンの医師で植物学者のツンベルクがヨーロッパに紹介して以来、世界中に広まっている。

花言葉は「困難に打ち勝つ」「ひたむきさ」。

コバノセンナ(小葉の旗那)

南米熱帯域が原産のマメ科カラケツメイ属の半つる性常緑低木(落葉低木説もある)。過去にダイエット効果があるとして流行したセンナ茶の「センナ」に似ており、写真で分かるように葉が小さいことから名前が付いた。



ただ、センナはマメ科ではなくジャケツイバラ科である。

花の少ない晩秋から初冬にかけて島じゅうでコバノセンナの黄色い花が目立つ。宮崎県の日南海岸一帯はこの花でいっぱいになり、観光客の目を楽しませているという。



シーマニア(グロキシニア・シルバチカ)

南米ボリビアが原産でイワタバコ科グロキシニア属の常緑多年草。日本には戦後になって移入され、旧学名のシーマニアがそのまま流通名となった。英名はボリビアン・サンセット(ボリビアの夕暮れ)。

秋から春にかけて長く楽しめ、一株に10輪以上が次々と咲く花は、金魚が口をパクパクさせているようで愛らしい。茎の丈はよく育って50cmまで。花の長さは2cmほど。

花言葉は「繁栄」「コミュニケーション」。



〈校訓〉
正しく
明るく
つよく

校長：大山 巧（第32代）、児童数43人・学級数5・教職員11人



早町小学校

母校訪問 おわいでは永遠に 10

学校概要



早町小学校の前身は明治10年、東郷校として設立され、同14年に東簡易学校と名称変更。同28年、現在地に東・沖名・西の三簡易学校が合併して東尋常小学校となる。
明治35年、前年に私立早町学館生を引き継いで創立された早町高等小学校と合併して早町尋常高等小学校となる。
昭和16年、早町国

児童数等の推移

| 年度 | 児童数 | 学級数 |
|------|-----|-----|
| 昭和43 | 204 | 7 |
| 47 | 148 | 6 |
| 50 | 119 | 7 |
| 55 | 98 | 6 |
| 60 | 96 | 6 |
| 平成元 | 73 | 6 |
| 5 | 69 | 6 |
| 10 | 41 | 4 |
| 15 | 37 | 4 |
| 20 | 42 | 4 |



昭和20年代の教室



開放的な現在の教室（左：1年生・右：2年生）

民学校となり、同20年には戦災により全校舎を焼失するが同23年、早町村立早町小学校として生まれ変わる。
昭和31年、早町村と喜界町との町村合併により、喜界町立早町小学校となって現在にいたる。今年度で創立134周年。
現在、子どもたちは下記のキャッチフレーズのとおり、学習のみならず遊びや委員会活動、清掃活動なども一所懸命で、常に読書を心がけて豊かな感性を養い、笑顔あふれる学校生活を送っている。

また、町から外国語活動の研究協力校の指定を受けており、教職員は精神的に実践研究を積み重ね、その研究成果を発表している。児童らは英語の歌に多く親しみ、表情やジェスチャーを工夫しながら友人とコミュニケーション

シヨンを図るなど、大きな成長を見せている。
保護者や校区民は、小規模校ながらも歴史ある学校に誇りを持ち続け、地域のよりどころとして学校や子どもたちに大きな期待を寄せしており、私財を提供しての学校施設の充実・改善などに協力を惜しまない。また、方言や島唄など、郷土教育への参加協力も積極的である。

キャッチフレーズ
汗いっぱい
読書いっぱい
笑顔いっぱいの
早町小学校

校歌

作詞新屋敷幸繁
作曲田中 義人

- 一 昇る朝日を仰ぎつつ
南の守り大島の
喜界東の美地をえて
智徳を磨く楽しさよ
- 二 見よ早町の我が校の
門辺を洗う瀬玉浦
港よろしき高千穂の
宮居のほとり我立てば
- 三 歌も伝えも名も清き
昔をしのぶ百之台
平家の森は人材の
林となりて見ゆるなり



英語でコミュニケーション！